

あるひと月のスケジュール

- 1 オフ(友人と食事)
- 2 オフ
- 3 自宅スタンバイ
- 4 羽田/クアラルンプール
- 5 ステイ
- 6 クアラルンプール/羽田
- 7 オフ(トレーニング)
- 8 オフ(温泉旅行)
- 9 オフ(温泉旅行)
- 10 オフ(海外アーティストのライブ)
- 11 羽田/福岡/羽田/伊丹 神戸へ地上移動 ステイ
- 12 神戸/羽田/那覇/羽田
- 13 オフ(友人と食事)
- 14 オフ(美容院、ネイル)
- 15 羽田/新千歳/羽田/新千歳/DH 名古屋 ステイ
- 16 名古屋/宮古島/名古屋 ステイ
- 17 名古屋/那覇/成田
- 18 オフ(トレーニング)
- 19 羽田/宮崎/羽田/八丈島/羽田
- 20 羽田/福岡/羽田
- 21 成田/プリュッセル ステイ
- 22 ステイ
- 23 プリュッセル
- 24 /成田
- 25 オフ(トレーニング)
- 26 オフ(友人と食事)
- 27 オフ
- 28 羽田/ミュンヘン ステイ
- 29 ステイ
- 30 ステイ

※上記は2019年のスケジュール  
 ※DH=ヘッドヘッド。乗客として移動すること  
 ※名古屋=中部国際空港



エレガントなベージュのタイトスカートと白のブラウス。靴もベージュでコーディネート。



マレーシアのクアラルンプールステイで同期と一緒に鍋。



香港ステイ中に、香港デザインランドへ。左が津田さん。

ANA CA 津田汐里さん



**Shiori Tsuda**  
 1992年11月生まれ、東京都出身。神田外語大学外国語学部英米語学科卒業後、2015年6月新卒入社。アメリカに短期留学経験あり。

**DATA**  
 デザイナー 由山淳朗  
 着用期間 2005年5月1日~2015年1月31日

**TOPICS**  
 創立50周年と羽田空港第2ターミナルへの移転を機に、ANAグループで制服が統一された。ブランドを効果的にアピールするとともに、ANAグループの一体感を高めることが目的だった。ANAの経営理念である「安心」と「信頼」を基本に、「変革」と「新しさ」をコンセプトに加えてデザイン。写真では見えづらいが生地に入ったラメ入りのピンストライプがアクセント。ブラウスとスカーフはブルーとパープルの2色。

ブルーのブラウス。ブラウス、スカーフ、ポケットチーフ、エプロンのいずれもブルーとパープルの2色がある。



ピンストライプの入ったシングルジャケットの制服。



スカーフとポケットチーフがアクセント。

9代目



新制服デザイン案を公表し利用者の声をさく  
 2004年6月1日~6月30日までの期間、ANA国内線の機内で乗客に応募用紙を配付しアンケート調査。ANAはその結果を参考にデザインを決定。

全日本空輸



写真はボーイング747-400の引退間近の2014年新春フライト。CAが就航当時の制服を着用して乗務した。Photo: Hiroyuki Kashiwa



制帽のあった最後のデザイン。

8代目

**DATA**  
 デザイナー 菅由 淳  
 着用期間 1990年11月1日~2005年4月30日

**TOPICS**  
 ボーイング747-400型機の就航を記念して誕生。マニッシュなイメージが話題に。濃紺にピンストライプの生地、肩パッドに金ボタンのダブルのジャケットとタイトスカートという1990年代の流行要素がちりばめられた。ブラウスとスカーフ、エプロンは、パイオレット、アクアマリン、コーラルピンクの3色が支給された。当初はあった制帽は1998年10月に廃止された。



ブラウスはパイオレットのほかにアクアマリン、コーラルピンクの3色があった。



肩パッドと金ボタンのダブルのあわせのジャケットにタイトスカート。ピンストライプが濃々しい。



ベルギーのブリュッセルステイ。ブルージュへ小旅行。

ニューヨークステイで海外ドラマスポット巡り。メトロポリタンミュージアム。



チャーターフライトでポルトガルへ。ポルトという町にある「Livraria Lello & Irmão レロとイルマオン書店」を訪れた。「世界一素晴らしい本屋」に選ばれたことのある書店だ。

From Shiori's Album

合格を引き寄せた3つの行動

津田さんの就職活動を成功に導いた3つのポイントがある。1つ目は大学内の就職活動サポートを活用したこと。「成田国際空港のインターンシップ」に応募し、終了後もボランティアとして続けました。業務以外にもどのような方が空港や飛行機を利用しているのか観察し、実践的な英語力も磨くことができました。

2つ目は、徹底的な企業研究。会社の歴史や取り組みなどを、本やホームページから学ぶ。そして肝心なことは、それらを自分の言葉で説明ができるように、自分の意見とともにまとめた。実際に飛行機を利用して、CAの業務も観察した。

そして最後は、自身の弱点を把握し、克服する努力を続けたこと。「ANA受験にはTOEICが必要でしたが、私はリーディングが苦手でした。入社基準は満たしていても、自己最高得点を取るために、毎日ひたすら参考書と公式問題集を解き、結果300点上がりました。くじけそうになりますが毎日コツコツやるのが大事だと実感しました」

津田さんの合格、それは必然だったのだと思わせる説得力が言葉にあふれていた。

ねに挑戦する

入社7年目、津田汐里さんのモチベーションである。ANAの採用面接でも、そのことを実体験を交えてアピールした。小・中学生ではバスケットボール部でキャプテン、高校生ではダンス部で部長。いつも協調性、チームワークを大切にしつつ広い視野で周りを見るように努めてきたことを伝えた。また、新しいことに挑戦することが大好きな津田さんにとって、英語を身につけた大学時代の経験も糧となった。